

2026年2月13日

各 位

会 社 名 アライドアーキテクツ株式会社
 代表者名 代表取締役会長 田中 裕志
 (コード番号: 6081 東証グロース市場)
 問合せ先 執行役員 財務経理部長 水野 智博
 (TEL 03-6408-2791)

通期業績予想と実績値との差異に関するお知らせ

2025年12月11日に公表いたしました 2025年12月期の連結業績予想と本日公表の実績値との間に差異が生じましたので、以下のとおりお知らせいたします。

1. 2025年12月期通期連結業績予想数値と実績値との差異 (2024年1月1日～2025年12月31日)

| | 連結売上高 | 連結営業利益 | 連結経常利益 | 親会社株主に帰属する当期純利益 | 1株当たり連結当期純利益 |
|----------------------------|--------------|-------------|-------------|-----------------|---------------|
| 前回発表予想 (A) | 百万円 2,915 | 百万円 △250 | 百万円 △250 | 百万円 △750 | 百万円 △52.28 |
| 実績値 (B) | 2,990 | △188 | △160 | △743 | △51.83 |
| 増減額 (B-A) | 75 | 61 | 89 | 6 | |
| 増減率 (%) | 2.6 | 24.6 | 35.9 | 0.9 | |
| (参考) 前期連結実績 (2024年12月期) | 3,463 | △459 | △386 | △516 | △36.33 |

2. 差異の理由

売上高につきましては、第4四半期連結会計期間において三層支援モデルの本格稼働が進展し、注力顧客層の拡大による顧客単価向上および大型新規顧客の獲得が伸長したこと等により、前回公表の予想数値を上回りました。

営業利益・経常利益につきましては、コストコントロールの徹底および費用の平準化が計画以上に進捗したこと、またガバナンス強化費用について投資範囲の再検討や効率的な体制の構築及び社内リソースの活用により、12月時点での見込額約150百万円から最終的には約60百万円へと大幅に抑制できたこと等の影響により、前回公表の予想数値を上回りました。

親会社株主に帰属する当期純損失につきましては、前回12月時点において子会社清算に伴う税金費用が当初想定を下回る見込みであることを織り込んで修正予想を公表しており、今回の実績値は当該修正予想に概ね沿った水準となりました。

以上